

## 岡益集落「集落営農ビジョン」

作成日： 平成28年2月24日

修正日：           年 月 日

市町村名	鳥取市	組織名	岡益営農組合	
1 地区の範囲				
鳥取市国府町 岡益地区				
2 地区の概要				
水田面積 21.6ha	主な水田栽培作物 水稻		農家数 36戸	
認定農業者数 0経営体	人・農地プランの中心となる経営体数		1経営体	
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標				
	【項目】	【現状】	【目標】	29年度
組 織 の 概 要	設立時期 (規約等の制定日)	28年2月1日	年 月 日	
	組織形態 (該当形態に○を記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未組織      ○ 共同利用型</li> <li>・作業受託型・協業経営型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未組織      ○ 共同利用型</li> <li>・作業受託型・協業経営型</li> </ul>	
農 地 の 集 積	構成農家数	24戸	24戸	
	集積面積 A	0ha	13.0ha	
	対象水田面積 B	20.3ha	20.3ha	
	集積率 A/B	0%	64.0%	
世代交代への取組				
新規就農者の活動参画				

- 注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。
- 2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。
- 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。
- 4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。
- 5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。
- 6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

## I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>現在、当集落では36戸の農家が約21.6haの水田に約15.5haの水稲を作付し個々の家族で経営している（一部コンバイン等の共同利用者有り）。しかし、平成28年2月に組織化を行ったことで、9.7haの集積を行う予定である。</p> <p>当集落においても今後、農業従事者の高齢化、後継者不足等、他集落と同様の問題がある。また、各農家において農業機械の整備・更新に伴う負担が大きくなり、経営維持はもとより農地を維持することも困難となり、耕作放棄地の発生と増加が懸念される。</p> <p>このため、集落営農を組織化し、機械（田植機、コンバイン等）導入を図り共同利用すると共に、耕作できなくなった農家の受け皿組織として耕作放棄地を出さない取組みを行っていく。尚、早い段階にて集積率64%以上となる様当組合への加入促進を図ると共に将来は他品目（大豆、ネギ等）栽培や作業受託も検討していく。</p> <p>また、昨今の農業情勢と生産者の高齢化、後継者不足が進行する中、将来的には法人化を目指すことで、安定した地域農業の維持・発展を図る。</p>
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	<p>水稲については、早生品種のコシヒカリ、ひとめぼれ、中生品種のきぬむすめを中心に作付けし、作期分散を図る事で適期刈取りによる品質向上と機械の有効利用を図る。</p> <p>生産調整については町内の配分面積に従い協力していく。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>平成28年春より組合として活動を開始し、田植え機、コンバインを導入し共同利用で効率的な利用を図りたい。なお、乾燥作業については当面、JAが整備している施設を利用していく。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>農業者の高齢化及び老朽化に伴う高額な農業機械の購入・農業経営の効率化、集落営農の必要性等について後継者と共同作業や研鑽を通して意識付けを行う。</p> <p>また、共同作業を通じて後継者育成を図ることで、世代交代を意識した経営をおこない、組織の安定的な運営に資する。</p>
5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】	

## II 農業用機械施設の整備方針

### 1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
田植え機	4条植え	1台	1,363,500	28年5月	○
コンバイン	3条刈り	1台	5,358,500	28年9月	○